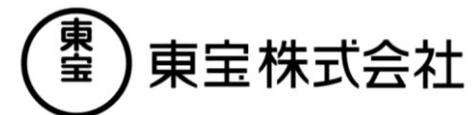


2018年2月期 第2四半期 (2017年3月1日～2017年8月31日)

# 決算説明資料



2017年10月16日(月)



# 2018年2月期 第2四半期 営業概況

|                      | 2017年2月期<br>(2016年3月～8月) | 2018年2月期<br>(2017年3月～8月) | 前年同四半期比   | 増減率     |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|-----------|---------|
| 営業収入                 | 114,983百万円               | <b>139,297百万円</b>        | 24,313百万円 | 21.1% ↑ |
| 営業利益                 | 24,403百万円                | <b>32,274百万円</b>         | 7,870百万円  | 32.3% ↑ |
| 経常利益                 | 25,048百万円                | <b>33,288百万円</b>         | 8,240百万円  | 32.9% ↑ |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 16,585百万円                | <b>22,875百万円</b>         | 6,289百万円  | 37.9% ↑ |

## 【第2四半期の営業概況】

主力の映画事業において、昨年の『シン・ゴジラ』に比肩する大ヒットはなかったものの、『劇場版ポケットモンスター キミにきめた!』『君の膵臓をたべたい』『メアリと魔女の花』をはじめ、東宝東和配給『怪盗グルーのミニオン大脱走』等が業績に貢献。また、『君の名は。』『シン・ゴジラ』のパッケージ・ソフトの売り上げが業績を大きく牽引。

演劇事業では日本初演30周年の『レ・ミゼラブル』や、日本版初演の『ビューティフル』などの話題作が連日の盛況となり、好調。

不動産事業では東宝不動産(株)の吸収合併により、所有物件のより効率的・効果的な運営に務め、堅調な成績を収めた。

その結果、第2四半期決算としては営業収入、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の各段階で過去最高を記録し、前年同四半期比で大幅な増収増益を達成。

# 營業概況3力年比較

## 營業收入

■ 第2四半期 ■ 期末



## 營業利益

■ 第2四半期 ■ 期末



## 經常利益

■ 第2四半期 ■ 期末



## 親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

■ 第2四半期 ■ 期末

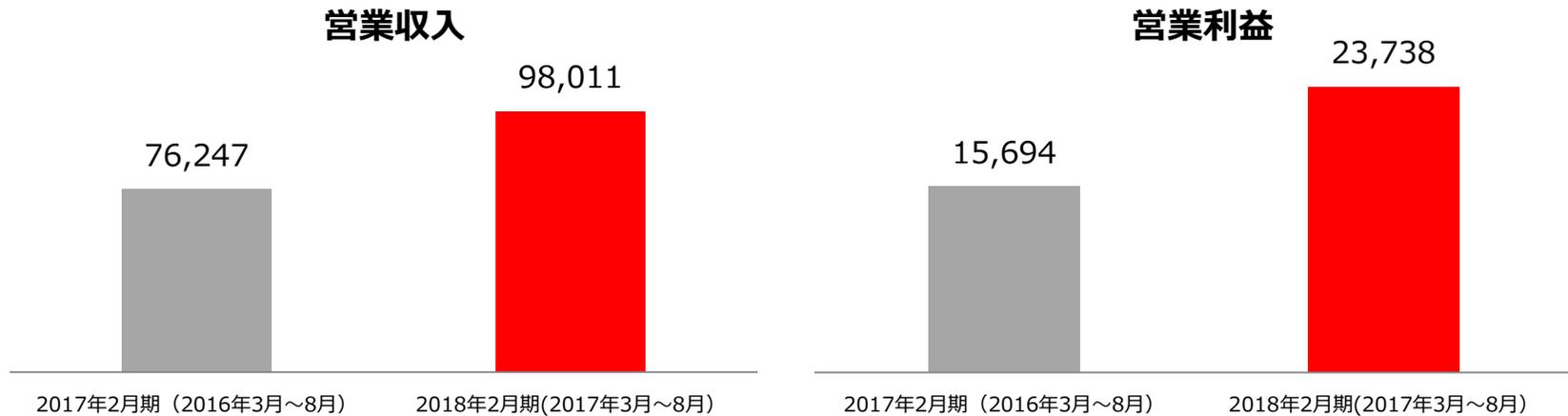


(単位：億円)

# セグメント別業績一覧

|          | 営業収入 (単位: 百万円)           |                          |          | 営業利益 (単位: 百万円)           |                          |          |
|----------|--------------------------|--------------------------|----------|--------------------------|--------------------------|----------|
|          | 2017年2月期<br>(2016年3月~8月) | 2018年2月期<br>(2017年3月~8月) | 増減率(%)   | 2017年2月期<br>(2016年3月~8月) | 2018年2月期<br>(2017年3月~8月) | 増減率(%)   |
| ①映画事業    | 76,247                   | <b>98,011</b>            | 28.5% ↑  | 15,694                   | <b>23,738</b>            | 51.3% ↑  |
| 映画営業     | 23,264                   | <b>30,251</b>            | 30.0% ↑  | 6,464                    | <b>8,775</b>             | 35.7% ↑  |
| 映画興行     | 39,938                   | <b>45,128</b>            | 13.0% ↑  | 6,568                    | <b>8,355</b>             | 27.2% ↑  |
| 映像事業     | 13,043                   | <b>22,632</b>            | 73.5% ↑  | 2,661                    | <b>6,607</b>             | 148.2% ↑ |
| ②演劇事業    | 6,654                    | <b>7,447</b>             | 11.9% ↑  | 1,303                    | <b>1,629</b>             | 25.1% ↑  |
| ③不動産事業   | 31,612                   | <b>31,788</b>            | 0.6% ↑   | 9,045                    | <b>8,646</b>             | -4.4% ↓  |
| 不動産賃貸    | 16,253                   | <b>15,144</b>            | -6.8% ↓  | 7,120                    | <b>6,107</b>             | -14.2% ↓ |
| 道路事業     | 10,405                   | <b>11,854</b>            | 13.9% ↑  | 1,468                    | <b>2,112</b>             | 43.9% ↑  |
| 不動産保守・管理 | 4,954                    | <b>4,789</b>             | -3.3% ↓  | 456                      | <b>427</b>               | -6.3% ↓  |
| ④その他事業   | 469                      | <b>2,050</b>             | 336.5% ↑ | 50                       | <b>93</b>                | 83.4% ↑  |

# セグメント別業績【映画事業】



(単位：百万円)

## 業績分析 (増減要因)

- 映画営業事業では、夏休み作品の当社幹事作品『君の膵臓をたべたい』や、『劇場版ポケットモンスター キミにきめた!』『メアリと魔女の花』が興行収入30億円を超えるヒットを記録し、『昼顔』『忍びの国』等の実写作品も高い水準で推移。東宝東和等配給作品は『怪盗グルーのミニオン大脱走』が興行収入70億円を超え夏休み作品のNo.1ヒット作品となった他、『トランスフォーマー/最後の騎士王』『ザ・マミー/呪われた砂漠の王女』も堅調に推移し前期を上回るヒット作品に恵まれ、増収増益。(興行収入は9月末時点)
- 映画興行事業では、好調な当社グループ配給作品に加えて、『パイレーツ・オブ・カリビアン/最後の海賊』(ウォルト・ディズニーストジオ)『銀魂』(ワーナー・ブラザーズ)『スパイダーマン:ホームカミング』(ソニー・ピクチャーズ)等のヒットによって興行収入は好調だった前年並みで推移し、増収増益。
- 映像事業では、アニメ制作事業では『名探偵コナン から紅の恋歌 (ラブレター)』等に出資し、業績に貢献。また出版・商品事業は『美女と野獣』『忍びの国』等のパンフレットやキャラクターグッズが順調に推移。パッケージ事業において3月発売『シン・ゴジラ』、7月発売『君の名は。』のパッケージ・ソフトの販売が大成功を収め、増収増益に大きく貢献。

# 映画 - 第2四半期累計 稼働作品 -

## ■ 当社配給作品 興行収入ベスト10

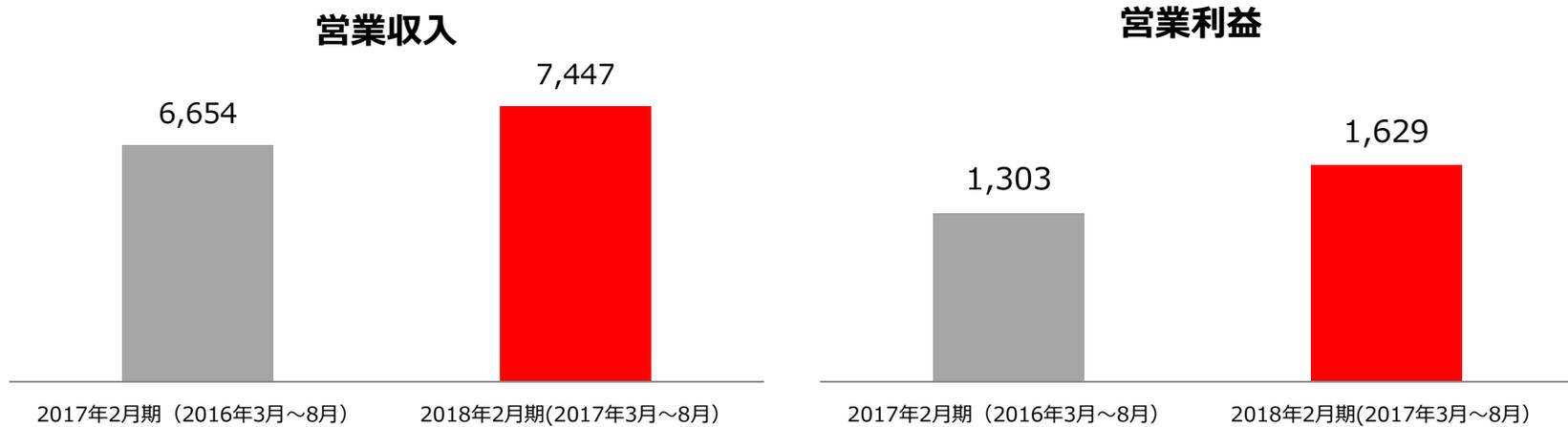
| 作品名                     | 公開月     | 興行収入   |
|-------------------------|---------|--------|
| 名探偵コナン から紅の恋歌（ラブター）     | 2017年4月 | 68.7億円 |
| 映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険   | 2017年3月 | 44.3億円 |
| 劇場版ポケットモンスター キミにきめた！    | 2017年7月 | 34.2億円 |
| 君の隣をたべたい                | 2017年7月 | 33.4億円 |
| メアリと魔女の花                | 2017年7月 | 32.3億円 |
| 忍びの国                    | 2017年7月 | 24.4億円 |
| 昼顔                      | 2017年6月 | 23.0億円 |
| 関ヶ原                     | 2017年8月 | 21.5億円 |
| 帝一の國                    | 2017年4月 | 19.2億円 |
| 映画クレヨンしんちゃん 襲来!! 宇宙人シリリ | 2017年4月 | 16.2億円 |

## ■ 東宝東和等配給作品 興行収入ベスト5

| 作品名                       | 公開月     | 興行収入   |
|---------------------------|---------|--------|
| 怪盗グルーのミニオン大脱走             | 2017年7月 | 71.4億円 |
| S I N G / シング             | 2017年3月 | 51.0億円 |
| ワイルド・スピード I C E B R E A K | 2017年4月 | 40.4億円 |
| トランスフォーマー / 最後の騎士王        | 2017年8月 | 17.3億円 |
| ザ・マミー / 呪われた砂漠の王女         | 2017年7月 | 15.2億円 |

※興行収入はすべて  
2017年9月末時点の数値

# セグメント別業績【演劇事業】

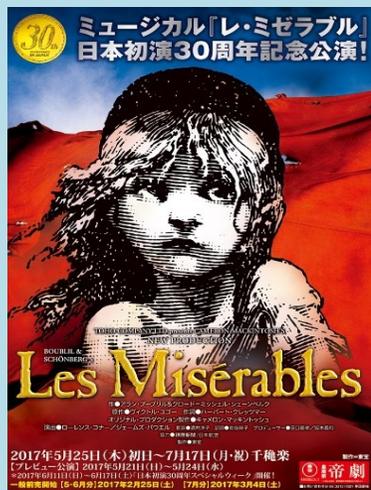


(単位：百万円)

## 業績分析 (増減要因)

- 帝国劇場では日本初演30周年の記念すべき年となった『レ・ミゼラブル』(5月～7月公演)の3か月にも及ぶロングラン公演が大盛況となった。キャロル・キングの半生を描いた日本版初演の『ビューティフル』(7月～8月公演)も幅広い観客層からの支持を得て、初舞台化ながらも高い舞台成果を収めた。
- シアタークリエでは『ジャニーズ銀座2017』(4月～6月公演)が全公演満席を記録し、2年ぶりとなる『RENT』(7月～8月公演)がファンからの支持を得て大盛況。  
その他、完売公演となった『GACHI ～全力entertainment4U～』等、バラエティに富んだラインナップを提供。
- EXシアター六本木『舞台 あさひなぐ』(5月公演)に共同で製作出資した他、社外公演では『レ・ミゼラブル』(8月公演)等が事業収益に貢献し、演劇事業全体として、増収増益を達成。

# 演劇事業 - 主要稼働作品 -



2017年5月~7月  
帝国劇場公演  
『レ・ミゼラブル』



2017年7月~8月  
帝国劇場公演  
『ビューティフル』

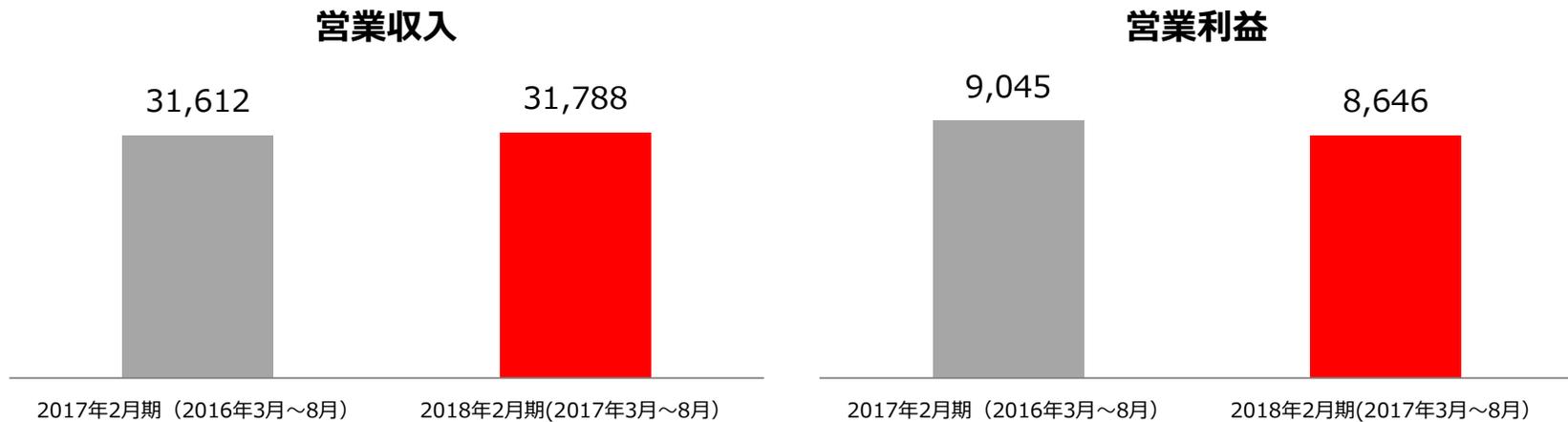


2017年7月~8月  
シアタークリエ公演  
『RENT』



2017年8月 シアタークリエ公演  
『GACHI ~全力entertainment4U~』

# セグメント別業績【不動産事業】



(単位：百万円)

## 業績分析 (増減要因)

- 不動産賃貸事業では、保有する全国の賃貸物件はほぼ空室なく堅調に稼働するも、本年3月に着手した福岡市の「天神東宝ビル」再開発に伴う償却費の増加等が影響し、前年同期に及ばず、減収減益。  
東宝スタジオは、当社配給作品の撮影やTV・CM撮影の誘致によりステージレンタルが順調に稼働。
- 道路事業では、スバル興業(株)とその連結子会社が積極的な営業活動により、維持作業・補修工事における採算性の高い工種の受注に努めるとともに、原価管理によるコストの削減を図り、業務の効率化による収益性を高め、大幅な増収増益。
- 不動産保守・管理事業では、(株)東宝サービスセンター、東宝ビル管理(株)が労務費や資材価格の高騰など厳しい経営環境が続く中、新規受注の開拓とコスト削減に取り組み、堅調に推移するもわずかに減収減益。

# MOVIE LINE UP



2017年11月17日（金）ロードショー

二十世紀最後の夏。その日人類は地球という惑星の支配者が自分達だけではないと知った——。  
『シン・ゴジラ』から“アニメゴジラ”へ。二万年後の進化を果たした、歴代最大ゴジラ現る。

## 『GODZILLA 怪獣惑星』

監督：静野孔文・瀬下寛之

ストーリー原案・脚本：虚淵玄(ニトロプラス)

声の出演：宮野真守 櫻井孝宏 花澤香菜 杉田智和 梶裕貴 諏訪部順一 他

©2017 TOHO CO., LTD.



2017年11月23日（木・祝）ロードショー

お笑いコンビ・ピースの又吉直樹の初純文学作品にして<第153回芥川賞>受賞作が遂に映画化。  
「笑い」に魅せられた二人の青年の、アホで愛おしい10年間の青春物語。

## 『火花』

原作：「火花」(又吉直樹/文春文庫刊)

監督：板尾創路 脚本：板尾創路 豊田利晃

出演：菅田将暉 桐谷健太

主題歌：菅田将暉×桐谷健太「浅草キッド」(作詞・作曲：ビートたけし)

©2017「火花」製作委員会



2017年12月9日（土）ロードショー

古都鎌倉——ここは、魔界や黄泉の国のはざままで、生者と死者の様々な思いが交錯する都。  
『ALWAYS 三丁目の夕日』製作陣が贈る、時空を超えた冒険ファンタジー！

## 『DESTINY 鎌倉ものがたり』

原作：「鎌倉ものがたり」(西岸良平/双葉社「月刊まんがタウン」連載)

監督・脚本・VFX：山崎貴

出演：堺雅人 高畑充希 堤真一 安藤サクラ 田中泯 中村玉緒

主題歌：宇多田ヒカル「あなた」

©2017「DESTINY 鎌倉ものがたり」製作委員会

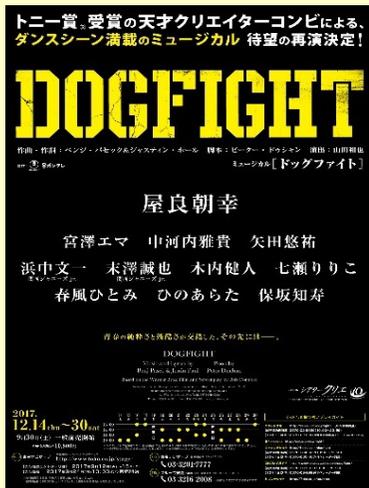
# STAGE LINE UP



2017年11月～12月  
帝国劇場公演  
『朝陽の中で微笑んで』



2017年11月  
シアタークリエ公演  
『ダディ・ロング・レッグズ  
～足ながおじさんより～』



2017年12月  
シアタークリエ公演  
『ドッグファイト』



2017年12月  
日生劇場公演  
『屋根の上の  
ヴァイオリン弾き』

# 業績予想

## ■ 2018年（平成30年）2月期連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

|                     | 営業収入                                    | 営業利益  | 経常利益                                       | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益                        | 1株当たり<br>当期純利益 |
|---------------------|---|---|--|--|----------------|
|                     | 百万円                                     | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 円. 銭           |
| 2018年2月期（予想）        | 235,300                                 | 45,000                                      | 46,900                                     | 32,200                                     | 178.28         |
| 前期実績増減率（%）          | 0.7% <span style="color: red;">↗</span> | -10.4% <span style="color: green;">↘</span> | -9.0% <span style="color: green;">↘</span> | -3.2% <span style="color: green;">↘</span> |                |
| （ご参考）<br>2017年2月期実績 | 233,548                                 | 50,223                                      | 51,562                                     | 33,252                                     | 182.72         |

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しと大きく異なる結果となりえることがあり、保証を与えるものではありませんのでご了承ください。  
また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料に関するお問い合わせ  
東宝株式会社  
総務部 広報・IR室  
TEL 03-3591-1303